

令和3年度全国研修担当者セミナー・教職大学院セミナー（一部合同開催） 実施要項

1 目的

我が国でも、予測困難な社会の教育の在り方が問われるようになってきた。近年、場所を問わず絶え間なく発生する自然災害もそうであるが、今般の新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延は教育関係者へも大きなインパクトを与えた。それが引き金となり、かねてより懸案の学校教育のICT化や少人数学級の実現に向けた一歩を踏み出すこととなった。そのような外的要因が教育の在り方にも変容を迫り、学校教育の在り方はもとより、教員研修並びに再教育についても再考が求められている。2日間のセミナーで、初日は「令和の日本型学校教育」が意図するところと国際的な教育改革の動向とを対比しつつ、対話によって教育の本質を探り、二日目は分科会形式で、研修担当者並びに教職大学院それぞれ固有の課題について研究協議を行う。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 期日 令和3年5月11日（火）～令和3年5月12日（水）

4 実施方法 Web会議ツール（Zoomミーティング）により実施（同時双方向通信を行う）
※セミナー中は常時接続が必要なため通信環境に留意すること

5 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地

6 受講者

(1) 受講資格

都道府県・指定都市・中核市の教員研修派遣担当者、教育委員会及び教育（研修）センター等の教員研修担当指導主事等（標準定員100名程度）及び教職大学院関係者

(2) 推薦手続き

推薦期限は、令和3年4月20日（火）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

教職大学院を置く各大学については、各機関の担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」宛て）に、[様式1]により申込を行う。

(3) 受講者の決定

各都道府県・指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

7 内容 [別紙1]日程表のとおり

8 その他

(1) Web会議サービス「Zoomミーティング」（（株）Zoomビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。受講に当たっては、当該ソフトウェアのインストールや安定したインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Webカメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

(2) Web会議への参加方法等の詳細については、受講者決定時に通知する。

日程表

全国研修担当者セミナー・教職大学院セミナー(合同開催 5月11日)

【目的】

令和3年1月に中央教育審議会は「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協同的な学びの実現～」を答申した。予測困難な社会を生き抜くことが前提とされる児童生徒が、「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」ために必要な資質・能力を獲得するための改革の視点が随所に盛り込まれている。これらの視点は改訂された学習指導要領の方向性と整合しているとともに、予測困難な社会の教育の在り方をめぐっては、OECD等での議論で重視されるコンピテンシーやエージェンシーの概念とも符合している。学校教育の在り方のみならず、教員研修並びに再教育、教員養成の基盤をなす議論を参加型で実施する。

	12:15	12:45	13:00	13:45	13:50	14:50	15:00	15:20	15:30	16:00
5月11日	受付	挨拶・事務連絡(15分)	【特別講演】 「令和の日本型学校教育」の目指す姿 【講師】 独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬克己	休憩(5分)	【基調講演】 国際的な教育改革の動向と予測困難な社会 【講師】 独立行政法人教職員支援機構 上席フェロー 百合田真樹人	休憩(10分)	【グループ・リフレクション】	休憩(10分)	【対談】 日本型学校教育の改革の視点と方向を考える 【登壇者】 独立行政法人教職員支援機構 理事長 荒瀬克己 上席フェロー 百合田真樹人	閉会行事

教職大学院セミナー(個別開催 5月12日)

【目的】

「学び続ける教員像の確立」(平成24年8月中央教育審議会答申)が打ち出され、教員の教職生活全体を通じて継続的に学ぶ機会を提供する必要性が改めて示された。そこには、養成段階において基礎的な資質・能力を形成する大学、生涯にわたる職能向上を支援する教育委員会、専門性をさらに高める大学院等、切れ目のない教員支援のための関係機関の連携・協働への期待も示された。今回のセミナーでは、その中でも関心や課題意識の高い「研修とその評価、そして単位化」に焦点化し、協議する。

	12:30	13:00	14:30	14:45	16:00
5月12日	受付・事務連絡	【事例研究】 「学び続ける教員像」の実現のための環境整備について、先導的な取組事例から成果と課題を共有する 【講師】 岡山大学大学院教育学研究科 准教授 馬場 真一 山口大学 教授 和泉 研二 独立行政法人教職員支援機構	休憩(15分)	【研究協議・グループディスカッション】 「学び続ける教員像」の実現のための環境整備について、各教職大学院の取組の成果と課題を共有し、今後の協議の方向性を検討する	閉会行事

令和3年度教職大学院セミナー 受講に当たっての留意事項

1 セミナー用 Zoom ミーティング情報について

- (1) 研修期間：令和3年5月11日（火）～5月12日（水）（【資料1】日程表参照）
 (2) 研修用 Zoom ミーティング情報

令和3年度教職大学院セミナー		
1日目	Zoom ミーティング ID	*** **
	パスワード	*****
2日目	Zoom ミーティング ID	*** **
	パスワード	*****

- ※ 各日、日程表（【資料1】）記載の「受付」の時間中に、Zoom ミーティング会場に入室してください。
 ※ Zoom の操作マニュアル等については、【資料4】を参照してください。

2 携行品について

- (1) 配付資料 ※5月10日（月）午前中を目処にアップロードします。
 ※ダウンロード方法の詳細は【資料3】を御確認ください。
 (2) 「学びばこ」受講者用ID【資料5】（(1)をダウンロードする際に必要なため）
 (3) その他受講に必要なもの

3 講義内容の活用について

- (1) 配付資料の著作権と活用許諾について
 資料活用の許諾の有無、範囲については、各講義資料の表紙に明示します。
 (2) 講義の録音、撮影について
 許諾された場合を除き、原則としてできません。
 なお、研修中は、教職員支援機構の事務局が、記録のためにレコーディングをする場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

4 Zoom による視聴方法について

- (1) ビデオ会議アプリ「Zoom」((株) Zoom ビデオコミュニケーションズ)を使用します。
 (2) インターネットに接続されたカメラ付きPCやタブレット、ヘッドホン等を御用意ください。また、常時接続が必要なため、通信環境に御留意願います。1人1台ずつの端末で御参加ください。
 ※予め「Zoom」を最新のバージョンにアップデートしておいてください。
 (3) 詳細（接続方法、操作方法等）は【資料4】を御確認ください。

5 緊急時の連絡について

(1) 教職員支援機構から連絡する場合

緊急時の連絡（自然災害や通信環境等の関係により研修の開始が遅れる場合等）がある場合は、受講推薦時に登録されたメールアドレス（【資料5】参照）宛てに配信します。

(2) 受講者から連絡する場合

遅刻、早退、欠席をする場合は、事前に必ず推薦機関に連絡してください。セミナー当日にやむを得ず遅刻、欠席等の事態が生じた際は、推薦機関に連絡するとともに、下記問合せ先にも連絡するようお願いいたします。

6 その他

(1) 追加の連絡がある場合は、講義資料等を掲載する「学びばこ」（【資料3】参照）ログイン後のページ上部に「お知らせ」として掲示します。ログイン時、「お知らせ」欄を確認いただくようお願いいたします。

問合せ先

独立行政法人教職員支援機構つくば中央研修センター
研修プロデュース室（和田、新庄）

TEL:029-879-6998, 6643（平日 8:30~17:15）

FAX:029-879-6645 E-mail:t-online@ml.nits.go.jp